



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月26日

上場会社名 三光産業株式会社  
コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 正和

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務・経理担当 (氏名) 高橋 光弘

TEL 03-3403-8134

定時株主総会開催予定日 2020年6月29日

配当支払開始予定日

2020年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	10,624	5.1	24		8		393	
2019年3月期	11,196	11.6	182		115		238	

(注) 包括利益 2020年3月期 504百万円 ( %) 2019年3月期 322百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	63.55		4.9	0.1	0.2
2019年3月期	38.46		2.8	1.0	1.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	11,277	7,791	69.1	1,258.12
2019年3月期	11,083	8,339	75.2	1,346.60

(参考) 自己資本 2020年3月期 7,791百万円 2019年3月期 8,339百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	242	250	447	2,431
2019年3月期	365	142	71	2,448

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		7.00	7.00	43	18.2	0.5
2020年3月期		0.00		5.00	5.00	30	7.9	0.4

(注) 2020年3月期の期末配当額につきましては5円(普通配当3円、記念配当2円)であります。詳細につきましては、本日公表の「剰余金の配当(減配)」に関するお知らせをご参照下さい。

また、2021年3月期の配当予想に関しましては、今後、予想可能となった時点で連結業績予想とあわせて開示いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による世界経済への影響をふまえ、合理的に予想することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	7,378,800 株	2019年3月期	7,378,800 株
期末自己株式数	2020年3月期	1,185,857 株	2019年3月期	1,185,857 株
期中平均株式数	2020年3月期	6,192,943 株	2019年3月期	6,192,943 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	9,987	10.1	115		119	107.5	531	
2019年3月期	9,072	10.1	5		57	45.9	35	64.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	85.78	
2019年3月期	5.72	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	10,150		7,543		74.3		1,218.00	
2019年3月期	10,349		8,238		79.6		1,330.28	

(参考) 自己資本 2020年3月期 7,543百万円 2019年3月期 8,238百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の個別業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による世界経済への影響をふまえ、合理的に予想することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、2020年6月16日に開催を予定しておりました決算説明会(機関投資家・アナリスト向け)を、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況を受け、中止することにいたしました。決算補足説明資料につきましては、当社ホームページ(<http://www.sankosangyo.co.jp>)で掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(当連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	11
(連結損益計算書関係) .....	11
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）における当社グループを取り巻く経済環境は、国内においては、雇用・所得環境の緩やかな改善が持続していましたが、年度後半から消費税率の引き上げによる景気の減速また、海外においては米中貿易摩擦の長期化による影響等、不安定な世界情勢の動向も懸念される中、年度末においては、新型コロナウイルス感染症の拡散により国内外に大きな影響を受け、景気の先行きは極めて厳しい状況となっております。

印刷業界においては、日本国内においては印刷需要が減少するなか受注競争による単価の下落、また海外においても現地企業との受注競争の激化等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、「新・中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）」初年度にあたり、「顧客企業における最高のサプライヤーになる基盤を整備する」を経営の基本方針に掲げ、成長に向けた新たなチャレンジによる売上の拡大と効率化の推進による収益の改善に取り組んでまいりました。

しかしながら、環境規制の影響による中国でのパネル関連製品等の受注減により、当連結会計年度の売上高は10,624百万円（前年同期比94.9%）と減収となりました。

利益面につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業損失は24百万円（前年同期は182百万円の営業損失）となり、受取配当金等の計上はありましたが経常損失は8百万円（前年同期は115百万円の経常損失）、また燦光電子（深圳）有限公司の工場閉鎖損失及びサンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. の固定資産の減損損失の計上等の特別損失の計上もあり、親会社株主に帰属する当期純損失は393百万円（前年同期は238百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 日本

パネル関連製品については、幅広い営業展開と品質管理の徹底並びに技術力を有する企業との連携を進めてまいりました。またシール・ラベル製品については、受注確保のため既存取引先の深耕のほか日用品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善等による効率化を重点的に進めてまいりました。

しかしながら、シール・ラベル製品を中心に減収となったことにより、当連結会計年度の売上高は8,500百万円（前年同期比98.0%）となりました。また利益面については、工程改善のほか販売費及び一般管理費の削減に努めました結果、セグメント利益は69百万円（前年同期は5百万円のセグメント損失）となりました。

日本セグメントに所属する連結子会社は、株式会社トムズ・クリエイティブであります。

#### ② 中国

中国セグメントにつきましては、中国深圳市における油性系インキの使用禁止等の環境規制の厳格化により当社製品の製造が困難な状況となり、受注が大幅に減少いたしました。これに対応するため、連結子会社燦光電子（深圳）有限公司については、2019年8月に製造工場を閉鎖し、販売会社として国内のグローバル営業部及び生産提携先との連携を強化し、中国市場における業績の安定化を目指して積極的な営業展開をいたしました。

しかしながら、当連結会計年度の売上高は1,490百万円（前年同期比84.3%）となり、セグメント損失は46百万円（前年同期は187百万円のセグメント損失）となりました。なお、中国セグメントに所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子（深圳）有限公司であります。

#### ③ アセアン

アセアンセグメントに所属する連結子会社サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD.、サンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. 及びサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD. につきましては、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け、積極的な営業活動及び製造工程の改善等を図っております。

しかしながら、シール・ラベル製品を中心に受注が減少し、当連結会計年度の売上高は633百万円（前年同期比84.6%）となり、セグメント損失は65百万円（前年同期は6百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産の残高は11,277百万円となり、前連結会計年度末比193百万円増加いたしました。これは、主に投資有価証券は190百万円、前渡金等その他の流動資産は168百万円減少いたしました。売掛金等の売上債権が95百万円、商品及び製品等の棚卸資産が243百万円、無形固定資産ののれんが164百万円増加したことによるものであります。

負債総額は3,485百万円となり、前連結会計年度末比741百万円増加いたしました。これは、主に退職給付に係る負債は82百万円減少いたしました。支払手形及び買掛金が459百万円、短期並びに長期借入金が500百万円増加したことによるものであります。

また、純資産総額は7,791百万円となり、前連結会計年度末比547百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する当期純損失の計上並びに親会社による配当金の支払により利益剰余金が436百万円、その他有価証券評価差額金が120百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は69.1%（前連結会計年度末は75.2%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、長期借入による収入500百万円による資金の増加要因があったものの税金等調整前当期純損失386百万円（前年同期は220百万円の税金等調整前当期純損失）の計上および有形固定資産の取得による支出等の資金の減少要因によって、2,431百万円（前年同期比17百万円減）となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、242百万円（前年同期比66.4%）となりました。これは主に、仕入債務の増加額432百万円等の資金の増加要因がありましたが、税金等調整前当期純損失386百万円、売上債権の増加額320百万円等の資金の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、250百万円（前年同期比176.4%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出250百万円等の資金の減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は、447百万円（前年同期は71百万円の資金の使用）となりました。これは主に、長期借入による収入500百万円等の資金の増加要因によるものであります。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米中貿易摩擦に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、先行き不透明な状況で推移すると予測しております。とりわけ、新型コロナウイルス感染症は世界規模での急速な拡大により世界各国で緊急的な対応に追われており、我が国経済のみならず世界経済への長期的な影響が懸念されております。また、価格競争の激化及び物流コストの上昇、テクノロジーの進化に起因する様々な変革、消費者の価値観変更等により経営環境は大きく変化するものと思われまます。

このような経営環境の中、今後の当社グループにつきましては、自動運転分野など積極的な研究開発投資が行われている新規技術分野における取引の拡大、マニュアル制作分野、臨床試験（治験）における統計解析分野、品質評価分野、日用品分野、ノベルティ分野での顧客開拓を進めるなど、全社的な収益基盤の強化に向けた取り組みを推進してまいります。

次期（2021年3月期）の連結業績見通しといたしましては、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な資金調達を行っていないこと及び国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸事情を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,465,043	2,447,366
受取手形及び売掛金	3,402,242	3,406,845
電子記録債権	559,865	650,623
商品及び製品	311,573	668,763
仕掛品	158,005	89,202
原材料及び貯蔵品	157,510	112,837
その他	311,112	142,189
貸倒引当金	△2,417	△339
流動資産合計	7,362,935	7,517,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,715,032	2,622,586
減価償却累計額	△1,844,370	△1,770,532
建物及び構築物(純額)	870,662	852,054
機械装置及び運搬具	2,809,374	2,418,532
減価償却累計額	△2,345,085	△1,991,169
機械装置及び運搬具(純額)	464,288	427,363
工具、器具及び備品	230,292	234,618
減価償却累計額	△188,254	△185,724
工具、器具及び備品(純額)	42,037	48,894
土地	1,282,606	1,282,457
リース資産	59,574	60,681
減価償却累計額	△25,539	△34,243
リース資産(純額)	34,034	26,437
建設仮勘定	-	14,937
有形固定資産合計	2,693,629	2,652,144
無形固定資産		
のれん	-	164,568
ソフトウェア	6,310	6,330
ソフトウェア仮勘定	-	19,080
無形固定資産合計	6,310	189,978
投資その他の資産		
投資有価証券	824,685	634,086
長期貸付金	13,469	8,028
繰延税金資産	3,325	91,608
その他	212,814	213,376
貸倒引当金	△33,312	△29,672
投資その他の資産合計	1,020,982	917,428
固定資産合計	3,720,922	3,759,551
資産合計	11,083,858	11,277,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,027,925	2,487,770
短期借入金	-	100,000
未払法人税等	36,699	24,831
賞与引当金	101,000	92,000
工場閉鎖損失引当金	-	2,443
その他	274,107	200,886
流動負債合計	2,439,732	2,907,932
固定負債		
長期借入金	-	400,000
長期末払金	853	-
退職給付に係る負債	235,878	153,051
その他	67,972	24,555
固定負債合計	304,703	577,607
負債合計	2,744,435	3,485,540
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,277,951	2,277,951
利益剰余金	4,919,844	4,482,924
自己株式	△1,013,866	△1,013,866
株主資本合計	8,034,679	7,597,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350,349	229,639
為替換算調整勘定	△45,606	△35,897
その他の包括利益累計額合計	304,742	193,742
純資産合計	8,339,422	7,791,501
負債純資産合計	11,083,858	11,277,041

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	11,196,287	10,624,392
売上原価	※1 9,355,686	※1 8,797,465
売上総利益	1,840,601	1,826,927
販売費及び一般管理費		
役員報酬・給与手当	890,644	851,273
賞与引当金繰入額	70,490	62,657
退職給付費用	53,498	5,187
福利厚生費	178,456	167,340
その他	829,859	764,848
販売費及び一般管理費合計	2,022,948	1,851,306
営業損失(△)	△182,347	△24,379
営業外収益		
受取利息	2,583	2,796
受取配当金	19,199	20,989
貸倒引当金戻入額	16,847	5,703
受取賃貸料	5,774	5,830
為替差益	12,654	-
補助金収入	10,230	-
その他	8,860	18,479
営業外収益合計	76,148	53,799
営業外費用		
支払利息	-	72
賃貸建物減価償却費	543	543
保険解約損	2,657	-
環境対策費	3,232	-
為替差損	-	35,275
その他	2,913	2,215
営業外費用合計	9,346	38,107
経常損失(△)	△115,545	△8,687
特別利益		
固定資産売却益	※2 617	※2 19,056
投資有価証券売却益	-	8
特別利益合計	617	19,064
特別損失		
固定資産処分損	※3 1,597	※3 11,116
投資有価証券評価損	-	35,948
工場閉鎖損失	-	※4 259,742
減損損失	※5 104,471	※5 89,667
特別損失合計	106,068	396,474
税金等調整前当期純損失(△)	△220,996	△386,097
法人税、住民税及び事業税	23,739	8,693
法人税等調整額	△6,548	△1,220
法人税等合計	17,190	7,472
当期純損失(△)	△238,186	△393,569
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△238,186	△393,569



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純損失(△)	△238,186	△393,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,681	△120,709
為替換算調整勘定	△56,893	△9,708
その他の包括利益合計	△84,574	△111,000
包括利益	△322,761	△504,570
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△322,761	△504,570
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,850,750	2,277,951	5,219,960	△1,013,866	8,334,795
当期変動額					
剰余金の配当			△61,929		△61,929
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△238,186		△238,186
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△300,116	-	△300,116
当期末残高	1,850,750	2,277,951	4,919,844	△1,013,866	8,034,679

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	378,030	11,287	389,317	8,724,113
当期変動額				
剰余金の配当				△61,929
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△238,186
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△27,681	△56,893	△84,574	△84,574
当期変動額合計	△27,681	△56,893	△84,574	△384,691
当期末残高	350,349	△45,606	304,742	8,339,422

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,850,750	2,277,951	4,919,844	△1,013,866	8,034,679
当期変動額					
剰余金の配当			△43,350		△43,350
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△393,569		△393,569
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△436,920	-	△436,920
当期末残高	1,850,750	2,277,951	4,482,924	△1,013,866	7,597,759

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	350,349	△45,606	304,742	8,339,422
当期変動額				
剰余金の配当				△43,350
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△393,569
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△120,709	9,708	△111,000	△111,000
当期変動額合計	△120,709	9,708	△111,000	△547,920
当期末残高	229,639	△35,897	193,742	7,791,501

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失(△)	△220,996	△386,097
減価償却費	165,064	162,751
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,034	△82,826
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,591	△9,000
減損損失	104,471	89,667
のれん償却額	-	14,960
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,909	△5,718
受取利息及び受取配当金	△21,782	△23,785
保険解約損益(△は益)	2,657	-
有形固定資産売却損益(△は益)	△617	△19,056
有形固定資産処分損益(△は益)	1,597	11,116
工場閉鎖損失	-	259,742
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	-	35,939
売上債権の増減額(△は増加)	428,428	△320,836
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,295	△334,584
破産債権の増減額(△は増加)	47	△115
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△173,087	228,209
仕入債務の増減額(△は減少)	△615,324	432,936
未払金の増減額(△は減少)	41,790	△56,074
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△29,094	△30,213
その他	△34,318	△37,203
小計	△373,404	△70,188
利息及び配当金の受取額	21,782	23,785
工場閉鎖損失の支払額	-	△169,608
法人税等の支払額	△30,960	△26,459
法人税等の還付額	17,366	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△365,215	△242,470
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△207,654	△250,412
有形固定資産の売却による収入	633	19,521
無形固定資産の取得による支出	△7,230	△20,746
投資有価証券の取得による支出	△9,490	△10,298
投資有価証券の売却による収入	-	767
貸付けによる支出	△1,000	△1,500
貸付金の回収による収入	20,989	6,940
事業保険金の解約による収入	11,574	-
保険積立金の解約による収入	51,910	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	6,259
その他	△1,738	△996
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,005	△250,465
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	500,000
親会社による配当金の支払額	△62,944	△42,633
その他	△9,025	△9,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,970	447,966
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29,106	27,203
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△608,298	△17,766
現金及び現金同等物の期首残高	3,057,150	2,448,852
現金及び現金同等物の期末残高	2,448,852	2,431,085

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (当連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当連結会計年度より株式取得しました株式会社トムズ・クリエイティブを連結の範囲に含めております。

## (連結損益計算書関係)

※1 期末棚卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損が売上原価に含まれておりません。

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
34,731千円	△38,546千円

※2 固定資産売却益の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
機械装置及び運搬具	617千円	12,052千円
工具、器具及び備品	—	7,003千円
計	617	19,056

※3 固定資産処分損の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
機械装置及び運搬具	0千円	9,719千円
建物及び構築物	1,597	1,200
工具、器具及び備品	0	197
計	1,597	11,116

## ※4 工場閉鎖損失

連結子会社燦光電子(深圳)有限公司の工場閉鎖に伴い発生したものであります。

## ※5 減損損失

前連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

## (1) 減損損失を認識した資産グループの概要

区 分	場 所	用 途	種 類
燦光電子（深圳）有限公司	中国広東省深圳市	特殊印刷用生産設備	建物、機械、その他

## (2) 減損損失に至った経緯

営業活動から生ずる損益が継続してマイナスの為、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

## (3) 減損損失の金額

種 類	金 額（千円）
建物及び構築物	19,302
機械装置及び運搬具	78,385
工具器具備品	3,144
ソフトウェア	3,638
合 計	104,471

## (4) 資産のグルーピングの方法

当社グループはキャッシュ・フローを生み出す最小単位としてグループ内の会社を基礎としてグルーピングしております。

## (5) 回収可能価額の算定方法

資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額は処分見込額等合理的な見積りにより評価しております。

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

## (1) 減損損失を認識した資産グループの概要

区 分	場 所	用 途	種 類
サンコウサンギョウ（バンコク） C O . , L T D .	タイ王国	特殊印刷用生産設備	建物、機械、その他

## (2) 減損損失に至った経緯

営業活動から生ずる損益が継続してマイナスの為、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

## (3) 減損損失の金額

種 類	金 額（千円）
建物及び構築物	9,067
機械装置及び運搬具	78,063
工具器具備品	2,205
ソフトウェア	330
合 計	89,667

## (4) 資産のグルーピングの方法

当社グループはキャッシュ・フローを生み出す最小単位としてグループ内の会社を基礎としてグルーピングしております。

## (5) 回収可能価額の算定方法

資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額は処分見込額等合理的な見積りにより評価しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に接着剤付きラベル・ステッカー・パネル等の特殊印刷製品の企画並びに製造、販売を行っており、日本においては当社が、海外においては中国とアセアンの現地法人が、それぞれの拠点を担当しております。

現地法人は、それぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、当社グループは、これらの拠点別を基礎とした地域別セグメントから構成されております。

したがって、これらの拠点における販売市場をそれぞれ別個のセグメントとして捉え、「日本」、「中国」、「アセアン」の3つを報告セグメントとしております。

なお、日本セグメントでは、特殊印刷製品の企画並びに製造、販売のほか、ノベルティグッズ等の企画、販売を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、重要な資産の評価基準、評価方法、減価償却方法及び引当金の計上基準等の会計方針に関する事項を記載しております「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

## I 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	日本	中国	アセアン	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,678,268	1,769,090	748,928	11,196,287	-	11,196,287
セグメント間の内部売上高又は振替高	394,447	909,826	8,169	1,312,443	△1,312,443	-
計	9,072,716	2,678,917	757,097	12,508,731	△1,312,443	11,196,287
セグメント利益又は損失(△)	△5,366	△187,068	△6,217	△198,652	16,305	△182,347
セグメント資産	6,560,436	1,091,854	731,441	8,383,732	2,700,125	11,083,858
その他の項目						
減価償却費	126,854	6,467	31,921	165,243	△179	165,064
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	165,268	24,091	28,344	217,704	179	217,883

(注) 調整額は以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失(△)の調整額16,305千円には、セグメント間取引に係るたな卸資産等の調整額が含まれております。
2. セグメント資産の調整額2,700,125千円には、当社の金融資産2,852,982千円及び報告セグメント間の債権の相殺消去△152,856千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	日本	中国	アセアン	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,500,387	1,490,666	633,338	10,624,392	-	10,624,392
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,536,297	1,336,496	10,551	2,883,345	△2,883,345	-
計	10,036,684	2,827,163	643,890	13,507,737	△2,883,345	10,624,392
セグメント利益又は損失(△)	69,060	△46,304	△65,540	△42,784	18,404	△24,379
セグメント資産	7,559,712	1,225,091	675,107	9,459,911	1,817,130	11,277,041
その他の項目						
減価償却費	129,225	251	33,434	162,911	△159	162,751
のれん償却額	14,960	-	-	14,960	-	14,960
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	329,728	-	91,638	421,366	149	421,516

(注) 調整額は以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失(△)の調整額18,404千円には、セグメント間取引に係るたな卸資産等の調整額が含まれております。
2. セグメント資産の調整額1,817,130千円には、当社の金融資産2,095,519千円及び報告セグメント間の債権の相殺消去△278,389千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、接着剤付きラベル・ステッカー・パネル等の特殊印刷製品の企画並びに製造、販売という単一産業区分に属する事業を行っている専門メーカーであり、その製品区分は単一であります。また、その外部顧客への売上高は連結損益計算書の売上高の90%超であるため、セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針第15項に基づき、当該情報の開示は省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:千円)

日本	中国	アセアン	合計
7,318,405	2,652,475	1,225,406	11,196,287

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	アセアン	合計
2,358,636	10,111	324,882	2,693,629

## 3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。



当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	特殊印刷製品	ノベルティグッズ等	合計
外部顧客への売上高	10,272,328	352,063	10,624,392

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	アセアン	合計
7,036,468	2,162,913	1,425,009	10,624,392

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	アセアン	合計
2,358,846	232	293,064	2,652,144

## 3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

日本	中国	アセアン	合計
—	104,471	—	104,471

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

日本	中国	アセアン	合計
—	—	89,667	89,667

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	日本	中国	アセアン	合計
当期償却額	14,960	—	—	14,960
当期末残高	164,568	—	—	164,568

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,346.60円	1,258.12円
1株当たり当期純損失(△)	△38.46円	△63.55円

(注) 1. 当連結会計年度及び前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△238,186	△393,569
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失(△)(千円)	△238,186	△393,569
期中平均株式数(千株)	6,192	6,192